

53

痴呆の成因と診断・治療並びに新薬開発に関する研究

課題番号 63440035

平成2年度科学研究費補助金 一般研究(A) 研究成果報告書

平成3年7月



研究代表者 丸山 勝一

(東京女子医科大学 医学部 教授)

[はしがき]

近年、痴呆は、医学的に多くの新知見が得られ、その機序が明らかにならないつつあるが、その患者数は数十万を超えるに到り、21世紀までには、200万を超える可能性が推測され、その医療については社会的にも極めて重要な課題となっている。

我々は数年来、痴呆患者の診断と治療について、臨床神経学的な観察を綿密に行なうとともに、補助診断法として、CT, MRI等の画像診断、神経生理学的検査、神経化学的分析、脳血管障害関連の血液性状の検査、神経病理学的検索などを用いて総合的に検討し、多くの新しい結果を得ることが出来た。最近の3年間の研究については、文部省科学研究費補助金によっており、特に大きな進展がみられている。痴呆成立機序の解明と治療法の開発に成功するには、なお多くの時間と労力が必要であるが、本研究組織としては研究が着実に進展しているものと思っている。

今後、これら一連の成果を踏まえて、画像診断、神経生理学、神経化学、血液レオロジー、神経病理学などの各研究分野の共同研究により、さらなる発展を目指す所存で、その成果については期して俟つべきものがあると信じている。

本冊子には、これらの経緯に沿って論文集を報告書としてまとめた。痴呆との関連がやや希薄な印象を与えるものも一部含まれているが、この3年間に助成金の運用により本研究組織の得た直接的、間接的成果として理解して頂ければ幸いである。

研究代表者 丸 山 勝 一 記

研究組織

研究代表者 丸 山 勝 一 (東京女子医科大学 医学部 教授)

研究分担者 小 林 逸 郎 (東京女子医科大学 医学部 助教授)

研究分担者 村 上 博 彦 (東京女子医科大学 医学部 講師)

研究分担者 大 沢 美貴雄 (東京女子医科大学 医学部 講師)

研究分担者 内 山 真一郎 (東京女子医科大学 医学部 講師)

研究分担者 佐々木 彰 一 (東京女子医科大学 医学部 助手)

研究経費

昭和63年度	13,000千円
平成元年度	2,100千円
平成2年度	1,000千円
計	16,100千円

研究発表

(1)学会誌等

A. 神経生理学的研究

1. 痴呆・認知機能

1. 大澤美貴雄、須田昭夫、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)患者の認知機能 ー大脳誘発電位後期陽性成分 (P300) による検討ー
臨床生理 18:3:321-326, 1988
2. 矢守茂、大澤美貴雄
正常人および脳梗塞患者における大脳誘発電位後期陽性成分 (P300) と臨床的痴呆検査
リハビリテーション 25:3:159-161, 1988
3. 大澤美貴雄、須田昭夫
透析患者の認知機能 ー大脳誘発電位後期陽性成分 (P300) による検討ー
透析会誌 21:8:757-761, 1988
4. 大澤美貴雄、須田昭夫、柴田興一、鈴木恒彦、高橋孝文、篁倫子、丸山勝一
脳性麻痺における認知機能 ー事象関連電位 (P300) における検討ー
臨床脳波 31:7:439-442, 1989
5. 大澤美貴雄、矢守茂、須田昭夫、篁倫子、丸山勝一
ウィルソン病の認知機能 ーTrien 療法の P300 に及ぼす影響ー
臨床脳波 31:3:202-204, 1989
6. 大澤美貴雄、丸山勝一
各種神経疾患における P300
臨床脳波 31:2:103-109, 1989
7. 清水優子、大澤美貴雄、太田宏平、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
亜急性連合性変性症の1例 ー事象関連電位 (P300) による認知機能の評価ー
東女医大誌 60:1:88-93, 1990
8. 大澤美貴雄、丸山勝一、
事象関連電位の P300 成分
実験治療 616:156-158, 1989
9. 中山温信、大澤美貴雄、丸山勝一
前頭葉機能の加齢変化 ー新修正 Wisconsin Card Sorting Testによる検討ー

脳神経 42:8:765-771, 1990

10. 亀井英一、大澤美貴雄、菊地美由起、丸山勝一
アルツハイマー型痴呆 (DAT) における聴性中間反応 (MLR) の検討
投稿中
11. 柴田興一、大澤美貴雄、丸山勝一
アルツハイマー型痴呆 (DAT) および多発梗塞性痴呆 (MID) における視覚誘発
電位の検討
投稿中
2. 画像診断と神経生理学的検査所見
12. 太田恵子、大澤美貴雄、亀井英一、丸山勝一
脳幹部血管障害における瞬目反射 (blink reflex) の検討 - 磁気共鳴画像診断との
対比 -
臨床脳波 31:12:794-798, 1989
13. 亀井英一
神経変性疾患における聴性脳幹反応と MRI との関係
東女医大誌 59:6:645-659, 1989
14. 遠藤理有子
多発梗塞性痴呆と Alzheimer 型痴呆の臨床と画像に関する研究
東女医大誌 59:6:693-704, 1989
3. 神経症状の神経生理学的解析
15. 大澤美貴雄、小林逸郎、相川隆司、村上博彦、竹宮敏子、丸山勝一
Midbrain Asterixis
東女医大誌 57:8:813-819, 1987
16. 大澤美貴雄、丸山勝一
asterixis
Geriat. Med. 26:1135-1138, 1988
17. 大澤美貴雄、丸山勝一
書痙
現代医療 21:2576-2583, 1989
18. 柴田興一
神経疾患における図形反転視覚誘発電位の検討
東女医大誌 59:6:672-682, 1989
19. 大澤美貴雄

表面筋電図の臨床応用

東女医大誌 59:6:499-513, 1989

20. 大澤美貴雄、丸山勝一、横井正治

陰性ミオクロームス

臨床脳波 32:9:582-587, 1990

21. 大澤美貴雄、丸山勝一

手根管症候群

Geriat. Med. 28:1389-1394, 1990

22. 小松崎聡、大澤美貴雄、岡山健次、丸山勝一

周期性異常脳波の臨床的検討

臨床脳波 33:6:413-417, 1991

4. 脳性麻痺

23. 小松崎聡

脳性麻痺における長潜時反射に関する研究

東女医大誌 59:3:167-176, 1989

24. 柴田興一、大澤美貴雄、丸山勝一、鈴木恒彦、高橋孝文

脳性麻痺 (CP) における図形反転視覚誘発電位 (PVEP) および網膜電図 (ERG) の検討

臨床脳波 32:11:745-749, 1990

25. 亀井英一、大澤美貴雄、丸山勝一、鈴木恒彦、手塚主夫

脳性麻痺における聴性中間反応の検討

臨床脳波 32:10:668-672, 1990

5. 薬物効果の神経生理学的検討

26. 大澤美貴雄、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一

L-dopa induced asterixis - 臨床生理学的検討 -

東女医大誌 57:4:296-302, 1987

27. 大澤美貴雄、須田昭夫、小林逸郎、丸山勝一

塩酸ピフェメラン (セレポート^R) の事象関連電位 (P300) に及ぼす影響

臨床と研究 66:3:1020-1028, 1989

28. 大澤美貴雄、飯嶋睦、丸山勝一、須田昭夫

パーキンソン病 (症候群) 患者における塩酸インデロキサジン (エレン^R) の事象関連電位 (P300) に及ぼす影響

Geriat. Med. 28:1875-1883, 1990

29. 大澤美貴雄、丸山勝一、須田昭夫

塩酸インデロキサジン（エレン）の事象関連電位（P300）に及ぼす影響
Geriat. Med. 28:171-180, 1990

30. 曾根玲子、大澤美貴雄、内山真一郎、小林逸郎、丸山勝一
chorea-acanthocytosis の不随意運動に対する tiapride の効果
神経内科治療 6:5:447-451, 1989
31. 大澤美貴雄、丸山勝一、須田昭夫
脳血管障害患者における Idebenon（アバン^R）の事象関連電位（P300）に及ぼす影響
薬と治療 18:3:1307-1318, 1990
32. 丸山勝一、大澤美貴雄、岡田経子、柴田興一、亀井英一、小林逸郎
パーキンソン病の認知機能 -とくに trihexyphenidyl HCl (THP)の事象関連電位
(P300)に及ぼす影響-
厚生省特定疾患神経変性疾患調査研究班1989年度研究報告書 70-74, 1990
6. 症例と電気生理学的検討
33. 岡田経子、大澤美貴雄、山本健詞、柴田興一、亀井英一、丸山勝一
家族性振戦の電気生理学的検討-とくにてんかん合併例と非合併例の相違について-
臨床脳波 33:5:352-356, 1991
34. 池沢道子、山本健詞、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
Acetazolamide が著効を示した睡眠時無呼吸症候群の1例
東女医大誌 59:6:789-792, 1989
35. 大澤美貴雄、伊藤綾子、亀井英一、小林逸郎、丸山勝一
HTLV-I associated myelopathy (HAM)の中枢性運動神経伝導時間 -経皮的大脳皮質
運動野および脊髄刺激による検討-
臨床脳波 30:7:473-475, 1988
36. 降矢芳子、長山隆、竹内恵、亀井英一、大澤美貴雄、小林逸郎、丸山勝一
特発性多発性脳神経炎に伴った両側顔面神経麻痺の1例
東女医大誌 59:6:777-782, 1989
37. 飯嶋睦、大澤美貴雄、菊地美由起、柴田興一、丸山勝一
HTLV-I-associated myelopathy (HAM)における nocturnal myoclonus -終夜睡眠ポ
リグラフによる検討-
臨床脳波 33:3:190-194, 1991
38. 太田恵子、大澤美貴雄、飯嶋睦、麦島真理、竹内恵、丸山勝一
Blink reflexの早期成分（R1）が欠如したゲルマニウム中毒の一例
臨床脳波 33:1:62-65, 1991

39. 山本健詞、大澤美貴雄、柴田興一、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
てんかんを伴う家族性振戦症の兄弟例 - 神経生理学的検討 -
東女医大誌 59:6:585-591, 1989
40. 岡田経子、大澤美貴雄、柴田興一、太田恵子、亀井英一、丸山勝一
HTLV-I associated myelopathy (HAM)の電気生理学的検討
臨床脳波 32:12:803-808, 1990
41. 太田恵子、大澤美貴雄、亀井英一、柴田興一、丸山勝一
筋緊張性ジストロフィーの電気生理学的検討
臨床脳波 32:8:536-540, 1990
42. 柴田興一、内山真一郎、林貴子、小林逸郎、丸山勝一
片麻痺で発症した SSPE
神経内科 33:257-259, 1990
43. 本田政臣、山本健詞、遠藤理有子、大澤美貴雄、亀井英一、柴田興一、小林逸郎、丸山勝一
食事療法、ステロイド療法、血漿交換併用療法を試みた adrenoleukodystrophy の 1 例
神経内科治療 7:1:35-41, 1990
44. 亀井英一、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
Myasthenic stateを呈した甲状腺機能低下症
神経内科 31:522-524, 1989
45. 太田恵子、大澤美貴雄、亀井英一、柴田興一、丸山勝一
Wilson病の電気生理学的検討 - そのキレート剤治療による変化 -
投稿中
46. 飯嶋睦、大澤美貴雄、亀井英一、竹宮敏子、丸山勝一
眩暈患者の非発作時における脳幹聴覚誘発電位 (BAEP) の検討 - 回転性と非回転性の眩暈間での対比 -
投稿中
47. 飯嶋睦、大澤美貴雄、太田恵子、柴田興一、亀井英一、丸山勝一
中枢性運動神経伝導時間 (CMCT) の延長を認めた慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) の一例
投稿中

B. 脳血管性痴呆

1. 画像診断

48. 曾根玲子、内山真一郎、小林逸郎、丸山勝一、柿木良夫、小野由子、小林直紀
脳血管障害におけるMR I の有用性
東女医大誌 59:6:579-584, 1989
2. 生化学的研究
49. 内山真一郎、村上博彦、曾根玲子、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一
血栓・止血における thromboxane A₂ の役割 - thromboxane A₂受容体阻害剤の抗血
小板・抗血栓作用 -
血管と脈管 18:414-420, 1987
50. 曾根玲子、内山真一郎、太田宏平、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一、
虚血性脳血管障害における血漿 Fibronectinの定量
血管と脈管 18:155-157, 1987
3. 血小板凝集能・線溶系分子マーカー
51. 村上博彦、内山真一郎、小林逸郎、丸山勝一
虚血性脳血管障害における血小板ADP 凝集能とアラキドン酸刺激による血小板
12-hydroxyeicosatetraenoic acid (12-HETE) 産生能
東女医大誌 59:6:560-563, 1989
52. 小林逸郎、内山真一郎、佐藤玲子、長山隆、丸山勝一
急性期脳血栓症における血小板 ATP放出能
東女医大誌 59:6:548-550, 1989
53. 長山隆、内山真一郎、柴垣泰郎、曾根玲子、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
血液粘度測定による赤血球変形能検出の試み
東女医大誌 59:6:564-568, 1989
54. 竹内恵、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
虚血性脳血管障害における血清脂質と血小板機能
東女医大誌 59:3:177-183, 1989
55. 望月昌子、内山真一郎、馬場園由美子、鄭秀明、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、
丸山勝一
脳塞栓症における凝血学的分子マーカーの変動
血栓止血誌 1:6:527-532, 1990
56. 望月昌子
心原性脳塞栓症と脳血栓症における凝血学的分子マーカーの変動
投稿中

4. 薬物治療

57. 内山真一郎、堤由紀子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一
脳血栓症における赤血球膜脆弱性に及ぼすDilazep の効果
基礎と臨床 22:18:6429-6432, 1988
58. 内山真一郎、曾根玲子、柴垣泰郎、長山隆、堤由紀子、小林逸郎、丸山勝一
脳虚血における少量アスピリン・チクロピジン併用療法の抗血小板効果
血管と脈管 19:390-393, 1988
59. 内山真一郎、堤由紀子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一
脳虚血における少量アスピリン・チクロピジン併用療法の抗血小板効果
臨床神経 29:5:579-583, 1989
60. Shinichiro Uchiyama, Reiko Sone, Takashi Nagayama, Yasuro Shibagaki, Itsuro Kobayashi
Combination Therapy with Low-Dose Aspirin and Ticlopidine in Cerebral Ischemia
Stroke 20:1643-1647, 1989
61. 山根清美、佐藤真奈美、佐々木彰一、竹内恵、内山真一郎、村上博彦、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一、岡山健次、相川隆司、伊東賢二
神経内科疾患に基づく神経因性膀胱に対する塩酸テロジリン（ミクトロール^R）の有
用性
Geriat. Med 27:1373-1383, 1989
62. 内山真一郎、望月昌子、鄭秀明、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一
虚血性脳卒中における少量アスピリン・チクロピジン併用療法の抗血小板作用
第3回血栓症セミナー：基礎と臨床報告集 55-68, 1989
63. Pao-Yu Wang, Shinichiro Uchiyama, Masako Mochizuki, Hideaki Tei, Itsuro Kobayashi, Shoichi Maruyama
The effects of CV-4151 on Thromboxane A₂-Dependent Platelet Aggregation in Patients with Ischemic Stroke
新薬と臨床 39:10:2067-2071, 1990
64. 堤由紀子、大澤美貴雄、長山隆、小林逸郎、丸山勝一、小林直紀
周期性片側性てんかん様放電を呈した脳梗塞の一症例
臨床脳波 33:6:292-294, 1991

5. 症例報告

65. 前田恭宏、内山真一郎、相馬芳明、相川隆司、小林逸郎、丸山勝一、

後頭・頭頂葉梗塞により多彩な視覚異常を呈した pseudoxanthoma elasticum の1例
脳神経 39:3:251-256, 1987

66. 菊地美由起、竹内恵、麦島真理、亀井英一、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
慢性海綿静脈洞血栓症の1例
東女医大誌 57:6:793-797, 1989

C. 神経病理学的研究

67. 佐々木彰一、相川隆司、皆川正男、小林逸郎、丸山勝一
Pick病2剖検例における nucleus basalis of Meynertの検討
臨床神経 25:7:812-817, 1985
68. Shoichi Sasaki, Shoichi Maruyama, Kiyomi Yamane, Hideo Sakuma, Makoto Takeishi
Ultrastructure of swollen proximal axons of anterior horn neurons in motor neuron disease
J. Neurol. Sci. 97:233-240, 1990
68. Shoichi Sasaki, Shoichi Maruyama, Makoto Takeishi
Observation of the Proximal Portions of Axons of Anterior-Horn Cells in the Human Spinal Cord
Acta Anat 139:26-30, 1990
70. S. Sasaki, K. Yamane, H. Sakuma, S. Maruyama
Sporadic motor neuron disease with Lewy body-like hyaline inclusions
Acta Neuropathol 78:555-560, 1990
71. Shoichi Sasaki, Shoichi Maruyama, Kiyomi Yamane, Hideo Sakuma, Makoto Takeishi
Swellings of Proximal Axons in a Case of Motor Neuron Disease
Ann Neurol 25:520-522, 1989
72. S. Sasaki, H. Kamei, K. Yamane, S. Maruyama
Swelling of neuronal processes in motor neuron disease
Neurology 38:1114-1118, 1988
73. S. Sasaki, T. Komori, S. Maruyama, M. Takeishi, Y. Iwasaki
An autopsy case of human T lymphotropic virus type I-associated myelopathy (HAM) with a duration of 28 years
Acta Neuropathol 81:219-222, 1990

74. 中地愛、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
多発性腫瘍塞栓により進行性痴呆を呈した悪性リンパ腫の剖検例
神経内科 28:415-418, 1988

(2)口頭発表

1. 村上博彦、内山真一郎、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
虚血性脳血管障害患者における血小板ADP 凝集とアラキドン酸刺激による 12-hydroxyeicosatetraenoic acid (12-HETE)
第13回日本脳卒中学会総会（東京，'88.3）
2. 大川原順子、渡辺恵美子、山根清美
福島県における老年期痴呆の現状について
第1回福島県痴呆研究会（郡山，'88.4.）
3. 大澤美貴雄、太田宏平、小林逸郎、丸山勝一
HTLV-I associated myelopathy (HAM)の中枢性運動神経伝導時間 (CMCT) -経皮的大脳皮質運動野および脊髄刺激による検討-
第29回日本神経学会総会（東京，'88.5.）
4. 遠藤理有子、小林逸郎、竹内恵、村上博彦、丸山勝一、柿木良夫
痴呆症例における CT, MRIの有用性
第29回日本神経学会総会（東京，'88.5）
5. 本田政臣、太田宏平、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
神経疾患における (IgG index)/(Albumin ratio)の診断的意義について
第29回日本神経学会総会（東京，'88.5）
6. 村上博彦、内山真一郎、小林逸郎、丸山勝一
血小板凝集とアラキドン酸刺激による血小板 12-hydroxyeicosatetraenoic acid (12-HETE) 産生能
第29回日本神経学会総会（東京，'88.5）
7. 長山隆、内山真一郎、大澤美貴雄、堤由紀子、小林逸郎、丸山勝一
一過性全健忘の血液レオロジー学的検討
第29回日本神経学会総会（東京，'88.5）
8. Ito M, Endo R, Katsura M, Aikawa T, Kobayashi I, Maruyama S.
CT and MRI in patients with internuclear ophthalmoplegia.
International Neuro-ophthalmology Society (Vancouver, '88.5)
9. Ito M, Maruyama S, Aikawa T, Kobayashi I, Takemiya T.
Pupillary abnormalities in spinocerebellar degeneration.
International Neuro-ophthalmology Society (Vancouver, '88.5)
10. 大澤美貴雄、小林逸郎、丸山勝一、矢守茂
ウィルソン病の認知機能 -Trien 療法の P300 に及ぼす影響-

第 6回神経内科治療研究会学術集会（東京，'88.6.）

11. Osawa M, Suda A, Kobayashi I, Maruyama S.
Evaluation of event-related potential (P300) in cerebral palsy.
The 4th Western Pacific Cerebral Palsy Association Meeting (Sendai, '88.9.)
12. Osawa M, Ota K, Kobayashi I, Maruyama S.
Central motor conduction time in HTLV-I associated myelopathy.
1988 Congress of the International Medical Society of Motor Disturbance
(ISMD) (Rome, '88.9.)
13. 大澤美貴雄、須田昭夫、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
小脳萎縮症とその類縁疾患 (SCD)における認知機能 - 事象関連電位 (P300) による
検討 -
第25回日本臨床生理学会総会 (名古屋, '88.10.)
14. 亀井英一、大澤美貴雄、小林逸郎、丸山勝一
神経変性疾患における聴性脳幹反応 (ABR) と Magnetic Resonance Imaging (MRI) 所
見との相関について
第18回日本脳波筋電図学会総会 (青森, '88.11)
15. 大澤美貴雄、須田昭夫、矢守茂、柴田興一、小松崎聡、小林逸郎、丸山勝一
脳性麻痺 (CP) における P300 の検討
第18回日本脳波・筋電図学会学術大会 (青森, '88.11.)
16. 太田恵子、大澤美貴雄、亀井英一、小林逸郎、丸山勝一
神経変性疾患における Blink Reflex の検討。Magnetic Resonance Imaging との対
比
第18回日本脳波・筋電図学会学術大会 (青森, '88.11.)
17. 長山隆、内山真一郎、大澤美貴雄、柴垣泰郎、堤由紀子、小林逸郎、竹宮敏子、
丸山勝一
一過性全健忘と一過性脳虚血発作における血液粘度と赤血球変形能指数
第11回日本血栓止血学会学術集会 (東京, '88.12)
18. 村上博彦、内山真一郎、小林逸郎、丸山勝一
アラキドン酸刺激による血小板凝集能と血小板 12-hydroxyeicosatetraenoic acid
(12-HETE) 産生能
第30回日本神経学会総会 1989
19. 長山隆、内山真一郎、堤由紀子、遠藤理有子、小林逸郎、丸山勝一
MRI における脳室周囲高信号域について
第30回日本神経学会総会 1989

20. 佐々木彰一、佐久間秀夫、丸山勝一
筋萎縮性側索硬化症における樹状突起の初期変化について
第30回日本神経学会総会 1989
21. 佐々木彰一、小森隆、小笠原望、中地愛、小林逸郎、丸山勝一
Lewy-like body を伴う運動ニューロン疾患の臨床病理学的検討
第30回日本神経学会総会 1989
22. 柴田興一、大澤美貴雄、丸山勝一
脳性麻痺 (CP) における図形反転視覚誘発電位 (VEP) および網膜電図 (ERG) の検討
第30回日本神経学会総会 1989
23. 堤由紀子、内山真一郎、長山隆、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
僧帽弁逸脱症候群 (MVP) を伴った脳梗塞例における血小板機能と血液粘度
第30回日本神経学会総会 1989
24. 内山真一郎、堤由紀子、佐藤玲子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一
虚血性脳血管障害における白血球凝集能
第30回日本神経学会総会 1989
25. 亀井英一、大澤美貴雄、岡田経子、小林逸郎、丸山勝一
聴性脳幹反応 (ABR, MLR) と頭部計測値との関連について
第19回日本脳波・筋電図学会学術大会 1989
26. 大澤美貴雄、中山温信、矢守茂、須田昭夫、丸山勝一
P300と神経心理検査
第19回日本脳波・筋電図学会学術大会 1989
27. 柴田興一、大澤美貴雄、丸山勝一
痴呆患者における視覚誘発電位 (VEP) の検討
第19回日本脳波・筋電図学会学術大会 1989
28. 長山隆、内山真一郎、堤由紀子、小林逸郎、丸山勝一
脳血栓症の病型と危険因子
第14回日本脳卒中学会総会 1989
29. 大澤美貴雄、須田昭夫、矢守茂、丸山勝一
脳血管障害 (CVA) の認知機能 - 事象関連電位 (P300) による検討 -
第14回日本脳卒中学会総会 1989
30. 内山真一郎、堤由紀子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一
脳血栓症における E5510 の抗血小板効果
第14回日本脳卒中学会 1989
31. 佐藤真奈美、柴田興一、柴垣泰郎、山根清美、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一

- MELAS の strokelike episode の経過中、一過性に PSD および PLEDs を呈した 1 症例
第26回日本臨床生理学会総会 1989
32. 山内照夫、三浦庸子、麦島真理、小林逸郎、竹宮敏子、丸山勝一
多発性脳梗塞患者における痴呆の程度と24時間血圧、脈拍の変動について
第26回臨床生理学会総会 1989
 33. 大澤美貴雄、丸山勝一、須田昭夫
パーキンソン病の認知機能 - 事象関連電位 (P300) による検討 -
第26回日本臨床生理学会総会 1989
 34. 大澤美貴雄、丸山勝一、須田昭夫、矢守茂
Trihexyphenidyl HCL (THP) の事象関連電位 (P300) に及ぼす影響
第 7 回神経内科治療研究会学術集会 1989
 35. 内山真一郎、佐藤玲子、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一
脳梗塞における indium-111 tropolone 血小板標識法による抗血栓療法の評価
第 7 回神経内科治療研究会学術集会 1989
 36. 内山真一郎、堤由紀子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一
虚血性脳血管障害における白血球凝集と PAF
第 3 回東京女子医科大学血栓止血研究会 1989
 37. 内山真一郎、望月昌子、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一
脳虚血における血小板カルシウム濃度
第 4 回東京女子医科大学血栓止血研究会 1989
 38. 小松崎聡、大澤美貴雄、小林逸郎、丸山勝一
脳性麻痺における長潜時反射に関する研究
第15回重症心身障害研究会学術集会 1989
 39. Maruyama S, Gotoh F, Katayama S, Hirai S, Takemiya T.
A clinical study of midodrine hydrochloride an orthostatic hypotension.
International Union of Angiology 15th World Congress 1989.
 40. 大澤美貴雄
事象関連電位 (P300) の臨床評価
第31回日本老年医学学会総会サテライトシンポジウム 1989
 41. 大澤美貴雄、中山温信、丸山勝一、矢守茂、須田昭夫、篁倫子
P300と各種認知機能検査
第 2 回 P300 研究会 1989
 42. Osawa M, Maruyama S, Suda A
Effects of cognition and memory enhancers on event-related potential (P300).

International Symposium on Cognition and Memory Enhancers 1989

43. Osawa M, Suda A, Kobayashi I, Maruyama S,

Effects of Bifemelane Hydrochloride (MCI-2016) on event-related potential (P300).

International Symposium on Advanced Evoked Potentials and Related Techniques in Clinical Neurophysiology 1989

44. Yamane K, Osawa M, Kamei H, Sakuma H, Kobayashi I, Maruyama S

Long-term follow up study of neurophysiological findings in Creutzfeldt-Jakob disease.

International Symposium on Advanced Evoked Potentials and Related Techniques in Clinical Neurophysiology 1989

45. Osawa M, Nakayama H, Yamori S, Takamura T, Suda A, Maruyama S,

P300 and neuropsychological assessments

9th International Conference on Event-related Potentials of the Brain

46. Osawa M, Suda A, Yamori S, Maruyama S,

Cognitive function in cerebrovascular disorder (CVD) -Evaluation by event-related potential (P300)-

1st International Stroke Congress

47. Uchiyama S, Mochizuki M, Nagayama T, Shibagaki Y, Kobayashi I

Platelet cytoplasmic ionized calcium in ischemic stroke

1st International Stroke Congress 1989

48. 柴垣泰郎、内山信一郎、望月昌子、長山隆、小林逸郎、丸山勝一、日下部きよ子

¹²³I-IMPの臨床的有用性に関する検討

第1回脳循環代謝学会 1989

49. 内山真一郎、望月昌子、長山隆、柴垣泰郎、小林逸郎、丸山勝一

脳血栓症における Fibrinopeptide A, B β 15-42, Protein Cおよび Antithrombin III.

第12回日本血栓止血学会 1989

50. Uchiyama S, Tsutsumi Y, Sato R, Nagayama T, Kobayashi I, Maruyama S

Role of PAF on aggregation of platelets and leukocytes in cerebral ischemia.

3rd International Conference on Platelet-Activating Factor and Structurally Related Alkylether Lipids 1989

51. Uchiyama S, Tsutsumi Y, Sato R, Nagayama T, Kobayashi I, Maruyama S

Platelet lysis, survival and imaging by platelets labelled with indium-111 tropolone in cerebral ischemia.

12th Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis
1989